

DevOps 実践スキル開発研修

開発<Dev>と運用<Ops>がお互いに協力しあうことで
ITが生み出すビジネス価値を顧客に届け続けること

- ▶実際の業務環境でどのようにDevOpsを適用するか
- ▶DevOpsが事業に多大な価値をもたらすことができる方法
- ▶どうやってチーム内で良いフロー（仕事の流れ）を作り出すのか
- ▶DevOps環境の中で活躍できるスキルをどう育成するのか
- ▶ITプロジェクトをより成功させるために、事業側の責任をどう示すか

コロナ禍におけるビジネス価値の新規創造、DXにおける自社の競争優位性実現、自社コアメンバーのエンゲージメント向上を実現する。ビジネス環境構築、など待たなしの次世代型のビジネステーマの現状を打開する新たなビジネスプロセスマネジメント「DevOps」。ビジネスとITのスピード化、ビジネス企画&IT戦略からセールス・マーケティング、システム要件定義から設計、開発、テスト、本番環境における運用保守まで一気通貫のビジネスプロセスを他社企業と切磋琢磨して成果を競いあい、相互に実践力をつけていきます。

これからのIT業界に必須のビジネススキルを第三者の教育機関が認定保証します。
ジャパンラーニングは26年間、45万人のビジネスパーソンのヒューマンスキルを
開発してきた独立系の企業教育会社です。取引実績は裏面をご覧ください。

1.DevOpsの概要と自社での適用方を理解

特定のシナリオに沿って進めながらDevOpsの適用について学べます。

1日で行う実践的なシュミレーション研修です。受講生は4つのラウンドにおいてそれぞれの課題に向き合い、振り返り、改善を行い、セッションを追うごとに実務の精度を高めていきます。

2.IT人材に求められるヒューマンスキルを高め開発する

EQモチベーションの開発、リーダーシップの開発、コミュニケーションスキル、チームワーク醸成というヒューマンスキルの開発を狙います。プロジェクトマネジメント方法論とともに「ビジネス人間力を高めること」を重要視し、教えたスキルを測定・認定します。

3.モチベーションを最大限に高め、顧客価値を創造する

受講生本人のモチベーション向上、自社へのロイヤリティが高まりエンゲージメントが向上。

成果と行動と能力の関係を説いて、その原動力となる「モチベーションを最大限に高めること」に集中させる。

モチベーションが高く、やりきるといふ行動力に長けていること。目的は事業成果の追求です。

開催概要 DevOps 実践スキル開発研修コース

ジャパンラーニングがスキルの認定を行い合格者には認定証を発行します

○プログラム

<1日目>	<2日目>
<p>Session1 「オリエンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> 我々を取り巻く社会環境 / ビジネス環境の変化 成果と行動とコンピテンシーの関係 自己のキャリアデザイン 	<p>Session5 「DevOps 練習」</p> <p>参加者はいくつかのプロジェクト、機能や課題を与えられ、最小限の工数で対応していきます。</p>
<p>Session2 「自己プレゼン」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介シート 自己プレゼン、自社紹介 	<p>Session6 「DevOps 実践①」</p> <p>ユーザから IT に関連したインシデント報告膨大なバックログと対峙し仕事量が一気に増え皆が忙しくなり、混乱した状況をどう乗り越えるか</p>
<p>Session3 「EQ 検査結果からみる自己の行動特性と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> EQ とは PMI タレントトライアングル、DX リーダーシップ モチベーション、コミュニケーション、リーダーシップ 行動特性を科学する(検査結果の自己プロファイリング) 	<p>Session7 「DevOps 実践②」</p> <p>さらに難解な課題へ挑戦 新たな課題 / 速やかな対応 / 新しいプロジェクト実装 SLA に対応できない問題 / IT 全体の限界への対処この局面でどう対応するか？</p>
<p>Session4 「DevOps とは」</p> <ul style="list-style-type: none"> DevOps の原則と 1 2 の知識とスキルの理解 DevOps から学ぶ仕事の進め方や働き方 DX にどう役立つか？ 	<p>Session8 「DevOps 実践③」</p> <p>最後の活動を綿密に計画 運用と開発チーム / 適切な優先度と、正しい判断 細かな FB ループとフローの要所を組み込む / 導入全員で振り返り</p>
<ul style="list-style-type: none"> 質疑応答 DevOps シュミレーション研修の準備 特定のシナリオに沿って DevOps の適用へ 受講生はチーム内で設定したポジションに 	<p>Session9 「スキル認定試験」</p> <p>DevOps スキル認定(実技 & 試験)</p>

○概要

- 日程 2日間:計 21 時間
- 受講対象者
事業部門 / システム開発 / システム運用 等
IT ソリューションの価値を高めたい方
IT サービスのパフォーマンスを向上させたい方
- 開催形式 オンラインライブ & 集合型開催
- 受講料 1 名につき 165,000 円(税込)

○認定するスキル

- お客様を理解するスキル
- モチベーション・コミュニケーション
- リーダーシップ・SE 職ヒューマンスキル
- 目標理解・チームビルディング
- DevOps での役割 / 主要なプラクティス
- 顧客中心の活動力・目標を意識した創造力
- 事業および IT の観点・継続的改善

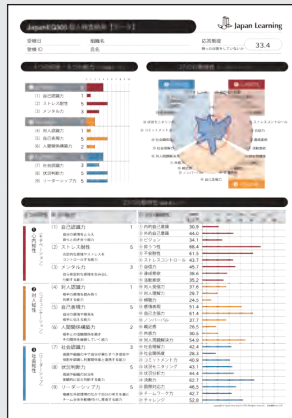
・ DevOps スキル認定証



受講者は EQ を受検し ヒューマンスキルを測定します

- モチベーション
- コミュニケーション
- リーダーシップ

個人の強み、弱みを把握し、自己の育成ポイントの見極めができます。さらに個々の結果からは、組織の客観的な分析が可能です。
結果には個人を見つめ直すヒントがあります。また組織単位で受講することにより、やる気、コミュニケーション、他者との関わりなどを数値で客観的に確認できます。



講師ならびに試験官

ジャパンラーニングがスキルを認定保証します。
最終日に実技と筆記試験により合否判定、合格者のみ認定授与となります。不合格者は再試験制度有り。



ジャパンラーニング社 代表取締役 加来勝正 ジャパンラーニング社 執行役員 水野保 ジャパンラーニング社 執行役員 山田俊昌 他専任講師

ジャパンラーニング教育実績

- | | | | |
|-------------------|-------------------|------------------|----------------|
| ●味の素株式会社 | ●株式会社静岡銀行 | ●東京海上日動火災保険株式会社 | ●マイクロソフト株式会社 |
| ●イースタン・カーライナー株式会社 | ●株式会社システムサポート | ●トヨタ自動車株式会社 | ●株式会社ミットヨ |
| ●AGC 株式会社 | ●CTC ファシリティーズ株式会社 | ●ナショナルソフトウェア株式会社 | ●三菱重工業株式会社 |
| ●株式会社 STNet | ●新日鉄住金株式会社 | ●日東電工株式会社 | ●三菱電機株式会社 |
| ●SCSK 株式会社 | ●住友電気工業株式会社 | ●日本イー・エム・ディ株式会社 | ●株式会社三菱 UFJ 銀行 |
| ●株式会社エポラブル アジア | ●ダイキン工業株式会社 | ●東日本電信電話株式会社 | ●明治安田生命保険相互会社 |
| ●オリエント化学工業株式会社 | ●太陽誘電株式会社 | ●株式会社ブルボン | ●株式会社 山下 PMC |
| ●川崎近海汽船株式会社 | ●高砂熱学工業株式会社 | ●株式会社ベルシステム 24 | ●株式会社 LEOC |
| ●コニカミノルタ株式会社 | ●株式会社竹中工務店 | ●HOYA サービス株式会社 | ●ロート製薬株式会社 |
| ●三洋貿易株式会社 | ●株式会社デンソー | ●本田技研工業株式会社 | |

厚生労働省の「人材開発支援助成金」を活用すれば、経費の約 3 割が助成されます。

■本研修は人材開発支援助成金（一般訓練コース）を適用できます。



○研修実施&スキル認定機関

ジャパンラーニング株式会社

東京都中央区日本橋 2-1-3

Tel.03-3548-3037

jeq@japan-learning.co.jp